

議 事 録	
会 議 名	令和7年第二回東海警察署協議会（定例会）
日時・場所	令和7年5月27日（火）午後1時30分から午後3時30分まで 東海警察署 講堂
出席者	<p>1 委員 8名（定数10名）</p> <p>吉本幸夫 会長      渡部由美子 副会長      櫻井淳子 委員 村上友紀子 委員      芳賀鉄男 委員      磯部秀人 委員 近藤真一 委員      竹内マリアクリスティーナ 委員</p>
	<p>2 警察署員 10名</p> <p>清水恒義 署長                      小木曾伸彦 副署長 宮崎博之 警務課長              福田太 会計課長 内山直隆 生活安全課長      竹村昇 地域課長 二村正男 刑事課長              今井聡至 交通課長 杉浦和樹 警備課長              石田敏之 大府幹部交番所長</p>
	<p>3 有識者等</p>
<p>1 署長挨拶</p> <p>2 報告内容</p> <p>(1) 管内治安情勢</p> <p>(2) 前回の意見・要望に対する具体的な施設の推進状況</p> <p>ア 前回の協議事項</p> <p>    高齢者に対する交通事故抑止対策について</p> <p>イ 意見要望及び施策推進状況</p> <p>(ア) 反射材の効果を啓発活動の中で取り上げる</p> <p>    ・管内トラック交通安全協力会及び東海市社会福祉協議会において、交通事故防止の講話を行うとともに、「LEDバンド」の着用や「反射材スコープ」を使用した反射材の有効性を広報する講話を行った。</p> <p>(イ) 免許証自主返納における行政との連携強化</p> <p>    ・管内トラック交通安全協力会において、行政の協力を得て各チラシを配布し自主返納した後の行政支援体制等を紹介した。</p> <p>    ・春の交通安全期間中に、東海市役所及び大府市役所と連携し、商業施設等において、行政機関が行っている自主返納制度に関するチラシを配布した。</p>	

(ウ) 高齢者の運動能力が自覚できる取組み

- ・大府市が開催する高齢者向け生涯学習講座において、グーパー体操等を行い、脳の活性化や認知症予防、血流改善、注意力や集中力の向上を目指し、高齢者が自分の運動能力を自覚できる取組みを行った。
- ・知多自動車学校で高齢者交通安全実践講座を行い、高齢者が自動ブレーキ、ペダル踏み間違い時の実車体験や、悪条件下における視力検査等を実施し、自身の運動能力を把握できる取組みを行った。

3 協議事項

効果的な特殊詐欺被害防止対策について

4 発言の要旨

特殊詐欺被害防止のチラシを目立つデザインにして、とにかく沢山の人の目に触れさせることが大切ではないか。

- 若年層の被害者が増加傾向にあることから、職場や学校への防犯講話など継続的に取り組んでいき、詐欺のしにくい街づくりを形成していく必要がある。
- 地域の回覧板で、被害防止につながる良い資料を活用していくのが良い。
- 詐欺の電話を携帯電話で受けている件数が多くなっていると聞き、私は自分の携帯電話に自作の特殊詐欺被害防止の標語ステッカーを貼っている。ステッカーは視覚効果もあり有効な手立てと考える。
- スプーフィングの手口の対策が自分はよく分かっていないから、周りにも広報できるように教えて欲しい。
- 銀行、コンビニ等での未然防止が重要であり、各機関における被害防止の意識向上が必要不可欠ではないか。
- 自治会等を通じた地域住民の協力が必要不可欠で、詐欺犯人等の不審者を通報する「地域の目」を養う必要があると思う。
- 一番の対策は、詐欺の電話に出ないことである。その周知活動を進めていった方がいい。

5 意見・要望

- (1) 企業や学校に向けた講話等を通じた防犯広報活動
- (2) 有効なステッカーやチラシの作成活用
- (3) SNSでの情報発信による防犯広報活動

6 その他

次回開催については、令和7年9月上旬頃